

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

予測困難な時代に一人ひとりが未来の創り手となるために

- 1 生徒の豊かな人間交流を促し、広い視野を持つ、健全な社会人、国際人としての成長を図る。
- 2 地域コミュニティを支える良識ある市民を育てる。

2 中期的目標

1 基本方針

卒業時に生徒が身に付けていること

- ・自ら考え、行動する力
- ・人を思いやる気持ち
- ・多様な人と協働できる力
- ・基礎、基本を土台とした、思考力、判断力、表現力
- ・挨拶の習慣
- ・読書習慣

2 確かな学力の育成

(1) カリキュラム委員会においてカリキュラム・マネジメントを確立し、新学習指導要領などで求められる力を育てる。

ア 各教科等の内容を相互の関係でとらえ、3年間で生徒たちが必要な資質・能力を身につけることができるように総合学科としてのカリキュラムを実施する。また新課程に対応した授業、評価を実践する。

イ 「何が身についたか」の評価方法、観点別の評価方法の確立に向け実践を重ねる。

(2) 授業改善に取り組む。主体的・対話的で深い学びを通し、思考力・判断力・表現力を高めるようにする。

ア わかりやすい授業を行う。

イ 生徒が考える授業を行う。(思考力、判断力)

ウ 生徒同士、教員とのコミュニケーションを大切にする。(表現力)

エ 基礎的、基本的な知識及び技能を確実に身につけさせる。

オ 話し合い、調べ学習、発表、実験、実習、地域貢献等を通して、考える力・まとめる力・発表する力等を育成する。

そのために

カ 公開授業、研究授業、授業見学、研修、授業アンケートなどを活用した授業改善に組織的に取り組む。

キ 生徒一人ひとりの能力や特性(ニーズ)に応じた個別学習や協同学習を展開し、より意欲的で深い学びを実現するため、1人1台端末を活用した授業の研究を進める。

ク 生徒自身が自ら学び、授業以外でも学習できるように取り組む。

※授業アンケートにおける「興味関心が持てた」「知識技能が身についた」の第一評価をR6年度に50%以上(R3:46,48/R2:46,47/R1:38,39)にする。

※学校教育自己診断(生徒向け)の「教え方に工夫をしている先生が多い」の第一評価をR6年度に40%以上(R3:29/R2:33/R1:23)にする。

※学校教育自己診断(生徒向け)の「学校は1人1台端末を有効に活用している」の第一評価をR6年度に50%以上にする。

備考 評価の基準

第一評価	よくあてはまる
第二評価	ややあてはまる
第三評価	あまりあてはまらない
第四評価	全くあてはまらない

3 生徒の「やる気」スイッチをオンにする

(1) 効力感、達成感の育成

ア 教科や教科横断的な行事などの中で自己表現をしたり、認められたりする場を広げる。

イ 教科学習と学校行事、部活動等の活動との両立を支援するとともに部活動参加率70%以上がR6年度に維持されている。

(R1:66 / R2:74 / R3:74)。

ウ 小学校、中学校、大学との連携を深める。また地域ボランティアなどの貢献活動を継続する。

エ 生徒が多様性を認め、お互いを尊重するため、人権尊重の意識や道徳的な態度を育む取組みを充実させる。

(2) キャリア教育の推進、キャリアアンカーの形成

ア 進路部・教務部・学年を中心に教科とも連携を図り、3年間を通じたキャリア教育を充実させる。

イ 日々の学習、フィールドでの発表や研修などを通して、自分の進路や生き方を考えられるようにする。

(3) 進路実現の支援: 4年制大学進学希望者の4年制大学への進学率をR6年度に90%以上にする。(R1:69 / R2:84 / R3:97)

就職希望者の就職率をR6年度も100%を維持する。(R1:100 / R2:100 / R3:100)

(4) 資格取得の推進

※学校教育自己診断(生徒向け)で「授業で発表する機会がある」の第一評価を、R6年度までに45%にする。(R1:42 / R2:43 / R3:40)

「ガイダンスは分かりやすい」の否定的評価(第三、四評価の合計)を、R6年度も10%以下に維持する。

(R1:18 / R2:9 / R3:10)

「進路や生き方を考える機会がある」の第一評価が、R6年度に50%以上に維持されている。(R1:59 / R2:71 / R3:62)

4 安全で安心な魅力ある学校づくり

(1) 生徒の規範意識を醸成する

ア 基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成に努める。

イ 生徒が自分で判断して自らの行動を律することができるようにする。

(2) 生徒が安心して学校生活を送ることができるように、個々の生徒への支援体制を強化する。

ア 課題のある生徒についてSCと緊密に連携し、生徒情報交換、ケース会議等を実施し、教員、養護教諭等が協力しながら指導方針を明示していく。

(3) 保護者連携・地域連携を一層推進していく。

(4) 働き方改革

※学校教育自己診断(保護者・生徒向け)での「何かあれば相談できる先生がいる」の否定的評価(第三、四評価の合計)をR6年度までに、生徒向け10%以下(R1:29 / R2:29 / R3:29)、保護者向け10%以下(R1:21 / R2:19 / R3:22)にする。

5 グローバル人材の育成

- (1) 日本語指導の必要な帰国生徒・外国人生徒の指導
- ア 出身中学、母語指導者等との密接な情報交換を日常的に行い、渡日・外国人生徒の指導を行う。
- イ 日本人生徒との交流の促進
- (2) 国際交流の推進
- ア 生徒の短期語学研修の実施（英語圏、中国語圏、韓国語圏）
- イ 外国の学校との相互交流の実施（訪問の受け入れやオンラインによる交流の実施）

※コロナ感染症拡大がおさまれば、語学研修を再開する（年1回行い、参加者10人程度（R1:19 / R2:0 / R3:0）をめやすとする）。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施分及びこの5年間の比較]	学校運営協議会からの意見																																																																																																																																																																																										
<p>※下の表の数字は生徒回答の第一評価の%</p> <p>生徒たちは本校に来る意義を感じている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校に行くことに意義を感じている</td> <td>42</td> <td>43</td> <td>49</td> <td>40</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>門真なみはや高校に入学してよかったと感じている</td> <td>49</td> <td>52</td> <td>65</td> <td>54</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>この学校は自分にあったフィールドや科目がある</td> <td>49</td> <td>56</td> <td>61</td> <td>55</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> <p>授業を受ける環境は安定している</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒が静かに授業を受ける環境がある</td> <td>49</td> <td>52</td> <td>43</td> <td>29</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>教室はきれいで、授業を受ける態勢ができています</td> <td>41</td> <td>43</td> <td>38</td> <td>31</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>第二評価を合わせると85%の生徒が、先生は工夫していると肯定的にとらえ、93%の生徒が発表の機会があると感じているが、第一評価をさらに高めたい</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教え方に工夫をしている先生が多い</td> <td>30</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>23</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>43</td> <td>42</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>第二評価を合わせると70%程度の納得感があるもの、生徒の思いを受け入れたうえで、生徒が納得感を得られる指導を進め、第一評価を高めたい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校の制服・遅刻・頭髪指導は適切だと感じる</td> <td>25</td> <td>28</td> <td>42</td> <td>37</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>学校生活について先生の指導は納得できる</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>37</td> <td>34</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>先生は生徒に対して適切な態度や言葉遣いで接している</td> <td>42</td> <td>39</td> <td>47</td> <td>42</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table> <p>生徒は行事に前向きに取り組んでいるといえる</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化祭、体育祭、球技大会などの生徒会行事は有意義だ</td> <td>59</td> <td>57</td> <td>72</td> <td>61</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table> <p>将来の進路、生き方について十分考える機会があると生徒は感じている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>将来の進路や生き方について考える機会がある</td> <td>59</td> <td>62</td> <td>71</td> <td>59</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> <p>命の大切さや、社会のルールについて学ぶ機会があるといえる</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>命の大切さ、社会のルールについて学ぶ機会がある</td> <td>50</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>44</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table> <p>この学校では、十分人権に配慮がなされている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>この学校では、十分人権に配慮がなされている</td> <td>57</td> <td>56</td> <td>59</td> <td>53</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> <p>生徒が教員に対してより相談しやすい環境作りをさらにすすめていく必要がある 生徒はいじめがない学校と認識している</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>何かあれば、相談できる先生がいる</td> <td>30</td> <td>36</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>この学校では、教職員が「いじめ」がおこらないように気を配っている</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>36</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>この学校では、生徒間の「いじめ」はみられない</td> <td>62</td> <td>67</td> <td>69</td> <td>58</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> <p>制度説明が適切になされている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フィールドや選択科目のガイダンス指導はわかりやすい</td> <td>40</td> <td>42</td> <td>52</td> <td>39</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>奨学金制度について、紹介や説明がなされている</td> <td>52</td> <td>45</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table> <p>1人1台端末の活用をさらに進めたい</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校は1人1台端末を効果的に活用している</td> <td>53</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R3	R2	R1	H30	学校に行くことに意義を感じている	42	43	49	40	39	門真なみはや高校に入学してよかったと感じている	49	52	65	54	48	この学校は自分にあったフィールドや科目がある	49	56	61	55	53		R4	R3	R2	R1	H30	生徒が静かに授業を受ける環境がある	49	52	43	29	28	教室はきれいで、授業を受ける態勢ができています	41	43	38	31	33		R4	R3	R2	R1	H30	教え方に工夫をしている先生が多い	30	29	33	23	21	授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある	40	40	43	42	38		R4	R3	R2	R1	H30	学校の制服・遅刻・頭髪指導は適切だと感じる	25	28	42	37	32	学校生活について先生の指導は納得できる	26	25	37	34	28	先生は生徒に対して適切な態度や言葉遣いで接している	42	39	47	42	39		R4	R3	R2	R1	H30	文化祭、体育祭、球技大会などの生徒会行事は有意義だ	59	57	72	61	61		R4	R3	R2	R1	H30	将来の進路や生き方について考える機会がある	59	62	71	59	53		R4	R3	R2	R1	H30	命の大切さ、社会のルールについて学ぶ機会がある	50	41	41	44	41		R4	R3	R2	R1	H30	この学校では、十分人権に配慮がなされている	57	56	59	53	45		R4	R3	R2	R1	H30	何かあれば、相談できる先生がいる	30	36	33	33	34	この学校では、教職員が「いじめ」がおこらないように気を配っている	31	32	32	36	30	この学校では、生徒間の「いじめ」はみられない	62	67	69	58	53		R4	R3	R2	R1	H30	フィールドや選択科目のガイダンス指導はわかりやすい	40	42	52	39	41	奨学金制度について、紹介や説明がなされている	52	45	48	48	52		R4	R3	R2	R1	H30	学校は1人1台端末を効果的に活用している	53	—	—	—	—	<p>第1回 6月15日</p> <p>○1人1台端末について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業でどのように活用しているのか？ ・大学生もパソコンを使い慣れている。プレゼンテーションにも活用しており、高校で端末を日常的に使用する環境があることで大学側としても恩恵を受けている。 <p>○観点別評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の多忙感は増したか？ <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜の倍率をみると人気があるようだが、総合学科は魅力があるということか？ ・体育祭は全学年、同じ日に実施しているのか？（小学校では学年により分割して実施） <p>第2回 10月26日</p> <p>○授業見学の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中オンライン交流（公益財団法人 日中友好会館主催）は、今までにない活動でよかった。生徒が海外の文化に接することができるよい機会である。 ・いつも生徒が生き生きしている。 ・オンライン交流の様子を見て、コミュニケーションツールとしての英語の大切さを実感した。 ・ICTの活用について、年々レベルが上がっている。 ・体育の実技では生徒同士の教えあい、学びあいがあった。 ・フィールドの授業は、生徒が主体になる授業、先生が前に出ていない授業でよかった。 <p>第3回 1月17日</p> <p>○令和4年度学校経営計画及び評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用について。中学校で生徒が使用していた端末と高校で使用する端末が異なる場合（キーボードとタブレットの違いなど）うまく使用できないなどといった事例はあるか。 ・地域連携について。野球教室でお世話になった。高校生にとってもいい機会になったと思うし、小学生にとっては「高校生年代になったときにどのような自分であるか」を考えるキャリア教育になったと感じる。 <p>○学校教育自己診断について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しんで登校している実感がある。 ・文化祭へのPTA参加ができて喜んでいる。 <p>○授業アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値は総じて高く、3.5を超えらるとなるとかなり高い結果だといえる。 <p>令和5年度学校経営計画について。校長より説明の後、審議され承認された。</p>
	R4	R3	R2	R1	H30																																																																																																																																																																																						
学校に行くことに意義を感じている	42	43	49	40	39																																																																																																																																																																																						
門真なみはや高校に入学してよかったと感じている	49	52	65	54	48																																																																																																																																																																																						
この学校は自分にあったフィールドや科目がある	49	56	61	55	53																																																																																																																																																																																						
	R4	R3	R2	R1	H30																																																																																																																																																																																						
生徒が静かに授業を受ける環境がある	49	52	43	29	28																																																																																																																																																																																						
教室はきれいで、授業を受ける態勢ができています	41	43	38	31	33																																																																																																																																																																																						
	R4	R3	R2	R1	H30																																																																																																																																																																																						
教え方に工夫をしている先生が多い	30	29	33	23	21																																																																																																																																																																																						
授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある	40	40	43	42	38																																																																																																																																																																																						
	R4	R3	R2	R1	H30																																																																																																																																																																																						
学校の制服・遅刻・頭髪指導は適切だと感じる	25	28	42	37	32																																																																																																																																																																																						
学校生活について先生の指導は納得できる	26	25	37	34	28																																																																																																																																																																																						
先生は生徒に対して適切な態度や言葉遣いで接している	42	39	47	42	39																																																																																																																																																																																						
	R4	R3	R2	R1	H30																																																																																																																																																																																						
文化祭、体育祭、球技大会などの生徒会行事は有意義だ	59	57	72	61	61																																																																																																																																																																																						
	R4	R3	R2	R1	H30																																																																																																																																																																																						
将来の進路や生き方について考える機会がある	59	62	71	59	53																																																																																																																																																																																						
	R4	R3	R2	R1	H30																																																																																																																																																																																						
命の大切さ、社会のルールについて学ぶ機会がある	50	41	41	44	41																																																																																																																																																																																						
	R4	R3	R2	R1	H30																																																																																																																																																																																						
この学校では、十分人権に配慮がなされている	57	56	59	53	45																																																																																																																																																																																						
	R4	R3	R2	R1	H30																																																																																																																																																																																						
何かあれば、相談できる先生がいる	30	36	33	33	34																																																																																																																																																																																						
この学校では、教職員が「いじめ」がおこらないように気を配っている	31	32	32	36	30																																																																																																																																																																																						
この学校では、生徒間の「いじめ」はみられない	62	67	69	58	53																																																																																																																																																																																						
	R4	R3	R2	R1	H30																																																																																																																																																																																						
フィールドや選択科目のガイダンス指導はわかりやすい	40	42	52	39	41																																																																																																																																																																																						
奨学金制度について、紹介や説明がなされている	52	45	48	48	52																																																																																																																																																																																						
	R4	R3	R2	R1	H30																																																																																																																																																																																						
学校は1人1台端末を効果的に活用している	53	—	—	—	—																																																																																																																																																																																						

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 [R3年度値]	自己評価
2 確かな学力の育成	(1) 新カリキュラム等の実施	ア カリキュラム委員会でカリキュラム・マネジメントをすすめ観点別評価の確立に向け実践を重ねる。	ア・カリキュラム委員会 15回 [20回] ・職員研修 1回以上 [3回] ・職員会議冒頭ミニ研修5回以上 [5回]	ア・カリキュラム委員会の活動 委員会の開催は11回、職員研修は1回、職員会議冒頭ミニ研修は3回にとどまったが、観点別評価は順調にスタートできた (△)
	(2) 各教科を中心とした授業改善	ア・わかりやすい授業を行う。 ・生徒が考える授業を行う。 ・生徒同士、教員とのコミュニケーションを大切にする授業を行う。 ・基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる。 ・生徒自身の発表の機会を設ける等授業形態の工夫をする	ア・授業アンケートの「興味関心が持てた」の第一評価を48% [46%] とする。 ・「知識技能が身についた」の第一評価を50% [48%] とする ・生徒自己診断の「授業で発表する機会がある」の第一評価を45% [40%] にする	ア 授業アンケート「興味関心が持てた」の第一評価は47% 「知識技能が身についた」の第一評価は50% (○) 第一評価と第二評価を合計すると93%であるが、第一評価に限ると40%にとどまった。さらに達成感をえられるような発表の形を考えていく (△)
3 生徒のやる気スイッチをオンにする	(3) 主体的、対話的で深い学びをめざす	ア・ICTなどの活用 ・1人1台端末を有効に活用し、プレゼンテーションソフトや学習支援クラウドサービスを有効に活用した授業を行う イ 教員相互の授業見学と研修 ・教育実習期間に合わせた教職経験年数が少ない教員による授業見学及び研修の実施 ウ 自主的な学習の推進 ① 授業以外の学習時間を前年比10%以上の増加を図る。 そのために、2年生の早期に受験勉強のスタートを切らせる。 ② 読書習慣を身につける。 そのために、本を読むことにつながる課題等を設定する。	ア ・生徒自己診断「教え方を工夫している先生が多い」の第一評価を30%以上 [29%] にする。 ・生徒自己診断の「学校は1人1台端末を有効に活用している」(項目を新設)の第一評価と第二評価の計を60%以上とする イ 教員自己診断「指導方法の改善・工夫が行われている」の第一評価30%以上 [32%] を維持する ウ ① 授業以外の学習時間(平日)を 1年生60分以上 [56分] 2年生30分以上 [27分] にする ② 1年生対象に3学期にアンケートを行い、1年間で一冊以上の本を読んだ生徒が80%以上となるようにする	ア ICTなどの活用 ・第一評価は29%、第二評価も合わせると85%以上になり、生徒は教員が工夫をしていると感じている (○) ・1人1台端末については85%の生徒が有効に活用されていると感じている (◎) イ 教員の第一評価は16%であった。第二評価をあわせると93%となるが、今後は教員が自信をもって改善・工夫していると言い切れる環境づくりを進める (△) ウ ①平日に限ると授業以外の学習時間は1年生が53分、2年生が29分であった。今後は休日も含めて考えていきたい (△) ②1年間で一冊以上の本を読んだ生徒は81%であった。 (○)
	(1) 効力感、達成感の育成	ア 部活動参加率を上げる。部活動の説明会などを充実させ、全学年の生徒の部活動の加入率を高める。 イ 地域連携 地域の小中学校への出前授業や、他の機関との連携、オンラインを含めた交流を通して地域に根差した学校とする。	ア 部活動加入率70%以上を維持する [74%] イ・コロナ感染状況を見極めつつ、3つ以上の交流を実施する。 ・交流後に実施する事後アンケートで、満足度70%以上となるような取り組みを行う	ア 部活動加入率は75%であった。今後は、より定着させていきたい (○) イ 多文化交流部や吹奏楽部が門真市のフェスティバルに参加。野球部が地域の小学生を招いての野球教室を実施。情報フィールドで地元企業のポスターを作成し校外で展示。美術フィールドが門真市アートフェスに参加。外国にルーツのある地元の小中学生を招いてのイベント等を実施するなどした。実施後の振り返りで、生徒の満足度、自己肯定感は70%を大きく上回ったと実感できる (◎)
	(2) キャリア教育の推進	ア 「産業社会と人間」から始まる3年間のキャリアプランの作成 ・2,3年生のキャリア教育の充実 イ 生徒が選択を通じて自己実現を図るガイダンス機能を充実する。	ア 自己診断「進路や生き方を考える機会がある」の第一評価50%以上を維持する [62%] イ 自己診断「ガイダンスはわかりやすい」の否定的評価(第三、四評価の合計)10%以下を維持する [10%]	ア 「進路や生き方を考える機会がある」の第一評価は59%であった (◎) イ 「ガイダンスはわかりやすい」の否定的評価は14%であった。わかりやすく感じている生徒に、さらにはいねいな働きかけを行う必要がある (△)

府立門真なみはや高等学校

	(3) 進路実現の支援	ア 多様な学びの中で形成した個々の力を最大限に発揮できるよう、生徒が最後まで努力することを支援し、希望進路の実現を図る。	ア 3学年当初の四年制大学進学希望者の4年制大学への進学率を80%以上にする〔97%〕 就職内定率100%を維持する〔100%〕	ア 1月現在で四年制大希望者の進学率は84% 最終結果は95%となった。(○) 当初の就職希望者は100%内定 (○)
	(4) 資格取得の推進	ア 生徒が資格取得の意義を理解できるように生徒に積極的な働きかけを行う。	ア 受験者数の増加 ・漢字検定受験者数50名以上を維持〔64名〕 ・英語検定準2級以上(CEFR A2以上)の生徒数100名以上を維持する〔217名〕 ・選択したフィールドに関する資格試験の受験率(パソコン検定など80%以上維持)〔100%〕	ア・漢字検定の受験者数は104名に増加 (◎) ・英語検定準2級以上(CEFR A2以上)の186名。(○) フィールドに関する資格試験の受験率は100% (○)
4 安全で安心な魅力ある学校づくり	(1) 生徒の規範意識の醸成	ア 規範意識を持たせる。生徒が指導の目的を理解した上での指導を実践する。そのために教員も生徒の思いなどを理解するよう努める。 イ 情報リテラシーの育成。特にSNSの利用について、研修や授業を通してリテラシーを高める。	ア・自己診断「制服・遅刻・頭髪指導は適切である。」第一評価を30%以上〔28%〕かつ肯定的評価70%以上〔71%〕にする ・自己診断「先生の指導は納得できる」第一評価を40%以上〔25%〕かつ肯定的評価70%以上〔70%〕にする イ 自己診断「情報機器やSNSを使用する際にルールを守っている」の第一評価50%以上〔70%〕を維持する	ア 「制服・遅刻・頭髪指導は適切である」の第一評価は26%。第二評価と合わせて68%であった。「先生の指導は納得できる」の第一評価は26%。第二評価と合わせると69%であった。(△) 行事前に生徒と話し合いを持つなどしたが、今後もさらに教員と生徒のそれぞれの思いが通じるようつとめながら、指導を進めていく。 イ 生徒自己診断の第一評価は72%。情報機器やSNSの利用についてリテラシーを意識することが浸透している。(○)
	(2) 課題のある(困り感のある)生徒の支援	ア 軽微なことでも生徒についての情報を共有する情報交換会を継続実施 イ 生徒相談室を充実させるなど相談体制の充実を図る ・「保健だより」等を活用した窓口の周知、教職員からの声掛けを継続する。	ア 支援・教育相談委員会を含めた生徒情報交換会を7回以上開催〔10回〕 イ 自己診断(保護者・生徒向け)「何かあれば相談できる先生がいる」の否定的評価(第三、四評価の合計)を、生徒向け25%以下にする〔29%〕 保護者向け20%以下を維持する〔19%〕	ア 2学期までに教科担当者会議6回。支援・教育相談委員会および個別支援に係る会議22回実施。学年主任会も13回実施した。(◎) イ 「何かあれば相談できる先生がいる」の否定的評価は生徒が31%。保護者は20%であった。今後、相談体制をさらに整え、相談できずにいる生徒が相談しやすい状況をつくっていく。(△)
	(3) 保護者連携・地域連携の一層の推進	ア 保護者連携の推進のため、メールの一斉配信など確実な連絡を行う。	ア 保護者向け自己診断「学校は、家庭への連絡や意思疎通を十分行っている」の第一評価を24%にする〔19%〕	ア 第一評価は20%と微増。第二評価も合わせると77%でおおむね意思疎通ができているともいえるが、第一評価をさらに高めたい。(△)
	(4) 働き方改革	ア 会議資料、小テスト等教材でのペーパーレス化を進める。	ア ICT機器を活用した会議を3回以上おこなう	ア 会議は3回程度実施。小テスト等のペーパーレス化は教科により定着しているところもある。(○)
5 グローバル人材の育成	(1) 日本語指導の必要な帰国生徒外国人生徒の指導	ア 合格発表後、早期からの高校生活支援を継続するとともに日本人生徒との交流を促進する	ア 文化発表会等による自国文化の紹介を年2回実施する〔2回〕	ア 渡日紹介などで自国文化の紹介を行った。その他、門真市や他市で行われた国際交流イベントに多文化交流部が出演するなどした。〔3回〕(○)
	(2) 国際交流の推進	ア 生徒の短期語学研修の充実 イ 外国の学校との相互交流の実施	ア 短期語学研修参加者10名程度〔0人 コロナ禍のため〕 コロナ等で海外研修ができない場合は、国内で代替の語学研修を実施する〔1回〕 イ 1校以上の交流を受け入れる〔0校 コロナ禍のため〕 コロナ等で受け入れができない場合はオンラインによる交流を複数回実施する	ア コロナ禍で海外語学研修は実施できず。国内で「留学生と巡る京都」を、規模を拡大して実施した。(○) イ 海外からの訪問は無し。オンラインによる交流は韓国やJENESYS(日中友好会館)による中国との交流を実施した。準備を進めていた中国の外国語学校との交流は1月以降または次年度の早い時期に延期となった。(○)